

## 平成26年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

平成25年11月13日

上場取引所 東

上場会社名 株式会社 東北新社  
 コード番号 2329 URL <http://www.tfc.co.jp>  
 代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 植村 徹  
 問合せ先責任者 (役職名) 常務執行役員 経営管理統括部長 (氏名) 伊藤 良平 TEL 03-5414-0211  
 四半期報告書提出予定日 平成25年11月14日 配当支払開始予定日 —  
 四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有  
 四半期決算説明会開催の有無 : 有 (機関投資家、アナリスト向け)

(百万円未満切捨て)

### 1. 平成26年3月期第2四半期の連結業績（平成25年4月1日～平成25年9月30日）

#### (1) 連結経営成績（累計）

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
26年3月期第2四半期	30,386	2.2	3,620	△8.9	3,798	△8.1	2,152	18.1
25年3月期第2四半期	29,743	△0.1	3,974	13.8	4,134	9.1	1,822	△12.3

(注) 包括利益 26年3月期第2四半期 2,734百万円 (22.0%) 25年3月期第2四半期 2,241百万円 (4.0%)

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
26年3月期第2四半期	47.89	—
25年3月期第2四半期	40.55	—

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
26年3月期第2四半期	100,176	60,672	60.0	1,336.82
25年3月期	99,356	58,567	58.4	1,290.03

(参考) 自己資本 26年3月期第2四半期 60,088百万円 25年3月期 57,985百万円

### 2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
25年3月期	—	0.00	—	14.00	14.00
26年3月期	—	0.00	—	—	—
26年3月期（予想）	—	—	—	14.00	14.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

### 3. 平成26年3月期の連結業績予想（平成25年4月1日～平成26年3月31日）

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	61,376	2.5	6,245	△5.4	6,503	△5.8	3,353	1.2	74.61

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）： 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用： 有

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更： 無
- ② ①以外の会計方針の変更： 無
- ③ 会計上の見積りの変更： 無
- ④ 修正再表示： 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	26年3月期2Q	46,735,334株	25年3月期	46,735,334株
② 期末自己株式数	26年3月期2Q	1,786,723株	25年3月期	1,786,723株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	26年3月期2Q	44,948,611株	25年3月期2Q	44,948,644株

※ 四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表に対するレビュー手続は終了していません。

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用に当たっての注意事項等については、添付資料2ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	3
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	10
(継続企業の前提に関する注記)	10
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	10
(セグメント情報等)	10

## 1. 当四半期決算に関する定性的情報

### (1) 経営成績に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、売上高30,386百万円（前年同期比2.2%増）、営業利益3,620百万円（前年同期比8.9%減）、経常利益3,798百万円（前年同期比8.1%減）、四半期純利益2,152百万円（前年同期比18.1%増）となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。なお、第1四半期連結会計期間から、各事業セグメントの不動産関連費用の測定方法を変更しており、以下の前年同期比較については、前年同期の数値を変更後の測定方法に基づき組み替えた数値で比較しております。

#### ① 制作関連事業

制作関連事業の売上高は、前年同期に比べ4.6%減の16,026百万円となり、営業利益は前年同期に比べ25.0%減の2,045百万円となりました。CM制作について、第2四半期の売上は第1四半期に対して増加し、また受注は前年を超えて推移しておりますが、10月以降に納品となる作品が多く、当第2四半期連結累計期間の売上は前年同期に比べて減少しました。また体制強化のための組織再編の費用もあり、減益となりました。

#### ② 放送関連事業

放送関連事業の売上高は、前年同期に比べ8.7%増の7,715百万円となり、営業利益は前年同期に比べ18.0%減の1,245百万円となりました。CS放送向けの番組販売及び映像制作が堅調であったため増収となりましたが、当社関連チャンネルにおいてスカパー新帯域（東経110度）のHD化等の費用が、当期は第1四半期から計画通り発生したため減益となりました。

#### ③ 映像関連事業

映像関連事業の売上高は、前年同期に比べ30.2%増の6,964百万円となり、営業利益は前年同期に比べ798.4%増の359百万円となりました。テレビ配給事業の収支が改善したこと、ライツ部門において『牙狼<GARO>』関連のキャラクターライセンス販売が好調であったことにより、増収増益となりました。

#### ④ 物販事業

物販事業の売上高は、前年同期に比べ3.8%増の3,346百万円となり、営業損失は49百万円（前年同期は105百万円の損失）となりました。ナショナル麻布スーパーマーケットは前年8月までは本店ビル建て替えに伴い休業しておりましたが、当期は期初より平常営業となったため、売上高が前年同期を上回り、営業損失は縮小しました。

(注) 上記セグメントの売上高は、セグメント間の内部売上高を含んだ金額を記載しております。

### (2) 財政状態に関する説明

#### ① 資産、負債及び純資産の状況

##### (資産)

当第2四半期連結会計期間末における資産の残高は、100,176百万円であり、前連結会計年度末に比べ819百万円増加いたしました。この主な要因は、仕掛品の増加755百万円等であります。

##### (負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債の残高は、39,503百万円であり、前連結会計年度末に比べ1,285百万円減少いたしました。この主な要因は、支払手形及び買掛金の減少970百万円、短期借入金の増加1,526百万円、未払法人税等の減少686百万円、未払金の減少384百万円及び前受金の減少685百万円等であります。

##### (純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産の残高は、60,672百万円であり、前連結会計年度末に比べ2,104百万円増加いたしました。この主な要因は、利益剰余金の増加1,523百万円及び為替換算調整勘定の増加609百万円等であります。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物（以下「資金」という）は、前連結会計年度末に比べ196百万円増加し35,005百万円となりました。

各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動による資金の使用は、474百万円となりました。これは、税金等調整前四半期純利益3,885百万円、減価償却費578百万円等による資金の獲得があったものの、たな卸資産の増加952百万円、仕入債務の減少967百万円、前受金の減少686百万円、法人税等の支払額2,406百万円等による資金の使用があった結果であります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動による資金の獲得は、150百万円となりました。これは、定期預金の預入による支出3,878百万円、有形固定資産の取得による支出130百万円等による資金の使用があったものの、定期預金の払戻による収入4,203百万円等による資金の獲得があった結果であります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動による資金の獲得は、366百万円となりました。これは、短期借入金の返済による支出2,500百万円、リース債務の返済による支出384百万円、配当金の支払額629百万円等による資金の使用があったものの、短期借入れによる収入3,900百万円等による資金の獲得があった結果であります。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第2四半期連結累計期間の業績は、期初予想を上回って推移いたしましたが、上半期に予定していた放送関連事業における関連チャンネルの費用の一部及び映像関連事業におけるプロパティ投資が、下半期にずれ込んだことが影響しております。平成26年3月期の連結業績予想については、下半期の事業環境を検討した結果、平成25年5月17日に発表した業績予想から変更はありません。

なお、業績予想につきましては、当社が現時点で合理的であると判断する一定の条件に基づいて作成しており、当社としてその実現を約束する趣旨のものではありません。実際の業績等は、今後様々な要因によって異なる結果となる可能性があります。

2. サマリー情報（注記事項）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

該当事項はありません。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

税金費用については、当第2四半期連結会計期間を含む連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算しております。ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表  
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	37,852,172	37,803,502
受取手形及び売掛金	16,068,875	16,059,175
有価証券	664,461	1,120,148
映像使用权	5,106,958	5,279,289
仕掛品	3,115,260	3,871,140
その他のたな卸資産	401,322	426,098
その他	6,080,418	5,773,820
貸倒引当金	△11,799	△10,677
流動資産合計	69,277,669	70,322,498
固定資産		
有形固定資産		
土地	13,085,275	13,115,510
その他(純額)	7,433,158	7,219,848
有形固定資産合計	20,518,433	20,335,359
無形固定資産		
のれん	788,673	725,839
その他	227,847	220,082
無形固定資産合計	1,016,521	945,922
投資その他の資産		
投資有価証券	6,860,182	6,868,962
その他	1,916,757	1,938,078
貸倒引当金	△232,849	△234,799
投資その他の資産合計	8,544,089	8,572,241
固定資産合計	30,079,044	29,853,522
資産合計	99,356,714	100,176,021
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	16,909,314	15,938,769
短期借入金	12,239,000	13,765,121
未払法人税等	2,174,067	1,488,050
賞与引当金	667,908	698,050
その他	4,078,249	2,931,119
流動負債合計	36,068,539	34,821,110
固定負債		
退職給付引当金	630,566	734,897
役員退職慰労引当金	430,779	429,590
その他	3,659,630	3,518,399
固定負債合計	4,720,975	4,682,886
負債合計	40,789,515	39,503,997

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成25年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成25年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,487,183	2,487,183
資本剰余金	3,729,851	3,729,851
利益剰余金	54,050,202	55,573,659
自己株式	△1,728,073	△1,728,073
株主資本合計	58,539,163	60,062,620
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	983,357	988,101
繰延ヘッジ損益	34,957	—
為替換算調整勘定	△1,572,356	△962,419
その他の包括利益累計額合計	△554,041	25,681
少数株主持分	582,077	583,722
純資産合計	58,567,199	60,672,024
負債純資産合計	99,356,714	100,176,021

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書  
(四半期連結損益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
売上高	29,743,782	30,386,318
売上原価	21,549,842	22,195,139
売上総利益	8,193,939	8,191,178
販売費及び一般管理費	4,219,018	4,570,910
営業利益	3,974,921	3,620,268
営業外収益		
受取利息	16,788	12,515
受取配当金	33,492	50,223
持分法による投資利益	142,118	82,094
経営指導料	68,054	69,554
その他	25,572	71,800
営業外収益合計	286,025	286,187
営業外費用		
支払利息	77,035	49,478
支払手数料	29,725	32,294
為替差損	11,855	21,787
その他	7,945	4,843
営業外費用合計	126,560	108,403
経常利益	4,134,385	3,798,052
特別利益		
受取補償金	—	87,975
その他	—	2,351
特別利益合計	—	90,327
特別損失		
固定資産売却損	—	2,585
固定資産除却損	21,904	—
投資有価証券売却損	178,638	—
投資有価証券評価損	361,365	477
その他	13,625	—
特別損失合計	575,534	3,062
税金等調整前四半期純利益	3,558,851	3,885,317
法人税等	1,665,378	1,730,934
少数株主損益調整前四半期純利益	1,893,473	2,154,382
少数株主利益	70,895	1,644
四半期純利益	1,822,578	2,152,737



(四半期連結包括利益計算書)  
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成24年4月1日 至平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	1,893,473	2,154,382
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	274,604	4,743
繰延ヘッジ損益	△5,412	△34,957
為替換算調整勘定	77,085	593,326
持分法適用会社に対する持分相当額	2,150	16,610
その他の包括利益合計	348,427	579,723
四半期包括利益	2,241,901	2,734,105
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	2,171,005	2,732,460
少数株主に係る四半期包括利益	70,895	1,644

## (3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	3,558,851	3,885,317
減価償却費	521,947	578,666
のれん償却額	62,833	62,833
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	2,988	828
賞与引当金の増減額 (△は減少)	45,354	30,141
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	22,317	104,331
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	5,968	△1,188
受取利息及び受取配当金	△50,280	△62,739
支払利息	77,035	49,478
支払手数料	20,000	20,000
持分法による投資損益 (△は益)	△142,118	△82,094
投資有価証券売却損益 (△は益)	178,617	—
投資有価証券評価損益 (△は益)	361,365	477
売上債権の増減額 (△は増加)	2,559,458	10,934
たな卸資産の増減額 (△は増加)	240,676	△952,854
繰延消費税等の増減額 (△は増加)	79,110	4,932
前渡金の増減額 (△は増加)	△138,331	△13,660
仕入債務の増減額 (△は減少)	△2,015,125	△967,279
未払消費税等の増減額 (△は減少)	△57,042	△92,730
前受金の増減額 (△は減少)	91,183	△686,265
その他	△286,604	△58,115
小計	5,138,207	1,831,012
利息及び配当金の受取額	85,959	101,080
利息の支払額	△76,864	△49,823
法人税等の支払額	△1,038,843	△2,406,185
法人税等の還付額	193,244	49,790
営業活動によるキャッシュ・フロー	4,301,703	△474,124

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成24年4月1日 至 平成24年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成25年4月1日 至 平成25年9月30日)
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△4,098,476	△3,878,128
定期預金の払戻による収入	3,956,001	4,203,016
有形固定資産の取得による支出	△483,747	△130,253
有形固定資産の売却による収入	—	3,231
無形固定資産の取得による支出	△22,752	△23,616
投資有価証券の取得による支出	△288,725	△69
投資有価証券の売却による収入	309,306	—
貸付けによる支出	△20,000	—
貸付金の回収による収入	10,000	17,918
その他	△112,302	△41,436
投資活動によるキャッシュ・フロー	△750,696	150,661
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入れによる収入	4,200,000	3,900,000
短期借入金の返済による支出	△2,500,000	△2,500,000
長期借入れによる収入	500,000	—
長期借入金の返済による支出	△500,000	—
リース債務の返済による支出	△351,663	△384,058
配当金の支払額	△629,281	△629,280
少数株主への配当金の支払額	△5,241	—
その他	△20,000	△20,000
財務活動によるキャッシュ・フロー	693,813	366,660
現金及び現金同等物に係る換算差額	17,638	153,066
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	4,262,459	196,264
現金及び現金同等物の期首残高	32,557,809	34,808,908
現金及び現金同等物の四半期末残高	36,820,269	35,005,172

## (4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(セグメント情報等)

## I 前第2四半期連結累計期間(自平成24年4月1日至平成24年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制作関連 事業	放送関連 事業	映像関連 事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	15,808,701	6,584,063	4,472,094	2,776,563	29,641,423	102,359	29,743,782	—	29,743,782
セグメント間の内部売上高又は振替高	992,245	515,488	875,299	447,052	2,830,085	39,638	2,869,724	△2,869,724	—
計	16,800,947	7,099,551	5,347,394	3,223,616	32,471,509	141,998	32,613,507	△2,869,724	29,743,782
セグメント利益又は損失 (△)	2,726,851	1,518,475	40,021	△105,226	4,180,122	22,026	4,202,149	△227,228	3,974,921

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△227,228千円には、セグメント間取引消去△16,066千円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)802,592千円及び全社費用△1,013,754千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

## 2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

## II 当第2四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年9月30日)

## 1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:千円)

	報告セグメント					その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	制作関連 事業	放送関連 事業	映像関連 事業	物販事業	計				
売上高									
外部顧客への売上高	14,803,283	6,559,282	5,961,933	2,960,488	30,284,986	101,331	30,386,318	—	30,386,318
セグメント間の内部売上高又は振替高	1,223,395	1,155,740	1,002,376	385,681	3,767,193	33,417	3,800,611	△3,800,611	—
計	16,026,678	7,715,022	6,964,309	3,346,169	34,052,180	134,748	34,186,929	△3,800,611	30,386,318
セグメント利益又は損失 (△)	2,045,358	1,245,578	359,554	△49,308	3,601,183	19,579	3,620,763	△494	3,620,268

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、教育事業等を含んでおりません。

2. セグメント利益又は損失の調整額△494千円には、セグメント間取引消去147,123千円、不動産関連費用の調整額(近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに算定した標準価額と実際発生額との差額)844,357千円及び全社費用△991,975千円が含まれております。

全社費用は、主に報告セグメントに配分していない当社の管理部門に係る費用であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

該当事項はありません。

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間から、当社グループの主力事業である制作関連事業の大幅な組織変更に伴い、各事業セグメントの業績をより適正に評価管理するために、各事業セグメントの不動産関連費用の測定方法を、不動産の使用によって実際に発生する費用をもとに測定する方法から、近隣の賃貸相場を参考に設定した標準賃貸単価をもとに測定する方法に変更しております。

なお、前第2四半期連結累計期間のセグメント情報を、当第2四半期連結累計期間の事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法に基づき作成した情報につきましては、「I 前第2四半期連結累計期間（自平成24年4月1日至平成24年9月30日）」の「1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報」に記載しております。